

第9回鎌倉市総合計画審議会 議事録

- 日 時:令和7年(2025年)6月27日(金)午前9時59分から11時18分まで
- 場 所:市役所本庁舎 402会議室
- 出席委員:高木会長、長尾委員、市川委員、波多辺委員(オンライン参加)、大津委員、田中委員、新津委員、内田委員(オンライン参加)、小島委員、海津委員(オンライン参加)、木村委員(オンライン参加)、亀山委員(オンライン参加)、村山委員(オンライン参加)、掛川委員
- 欠席委員:小泉委員
- 幹 事:企画課長
- 事務局:企画課課長補佐兼担当係長、企画課担当係長、企画課主事3名、企画課事務職員1名、政策創造課課長補佐兼担当係長
- 関連職員:なし
- 傍 聴 者:2名
- 会 議 次 第:
- 1 議題
 - (1) 審議
 - ア 新たな鎌倉市総合計画の策定に係る答申内容について
 - (2) その他
- 配付資料
- 次第
- 資料1 新たな鎌倉市総合計画について(答申)(案)
- 資料2 「新たな鎌倉市総合計画について(答申)」に向けた委員意見一覧(事前御提出分)
- 資料3 鎌倉市総合計画(案)
- 資料4 令和7年5月30日開催の第8回鎌倉市総合計画審議会議事録(案)
- 資料5 鎌倉市総合計画審議会委員名簿
- 会 議 記 録:
- 会長 ただいまから、第9回鎌倉市総合計画審議会を開会します。
まず、事務局から報告があります。
- 事務局 本日、現時点で14名の委員の方に御出席いただいていることから、鎌倉市総合計画審議会規則第3条第2項の規定により、委員会として成立していることを報告します。
続きまして、本日の資料の確認です。本日の資料は、次第、資料1「新たな鎌倉市総合計画について(答申)(案)」、資料2「新たな鎌倉市総合計画について(答申)」に向けた委員意見一覧(事前御提出分)、資料3「鎌倉市総合計画(案)」、追加資料、資料3の差し替えページ、こちらですが、6月24日に開催されました総務常任委員会にて、委員から指摘事項があったことに伴い修正を行ったため、大変申し訳ございませんが差し替えページとして追加資料とさせていただきます。資料4「令和7年5月30日開催の第8回鎌倉市総合計画審議会議事録(案)」、資料5「鎌倉市総合計画審議会委員名簿」を配付しておりますので、御確認をお願いします。
- 会長 ありがとうございます。委員の皆様、資料はよろしいでしょうか。
(委員了承)
- 会長 続いて、本日の傍聴希望について、事務局から御説明いたします。
- 事務局 本日、2名から傍聴のお申出をいただいております。
傍聴者の取扱いについて、御協議をお願いします。
- 会長 傍聴者の取扱いについて、特に問題がなければ、ここから入室を認めようと思いますが、よろしいでしょうか。
(委員了承)
- 会長 傍聴者を入室させてください。
(傍聴者入室)

会長 傍聴者に申し上げます。会議中は静粛にお願いします。

会長 また、発言、会議の録音・録画・撮影は認められませんので、よろしくお願いします。

会長 それでは議題に入ります。

議題1

「新たな鎌倉市総合計画の策定に係る答申内容について」

事務局から御説明をお願いいたします。

事務局 新たな鎌倉市総合計画の策定に係る答申内容について説明いたします。資料の順番が入れ込んで申し訳ありません。

まず、資料の2から御覧ください。前回5月 30 日に開催されました当審議会におきまして、答申に向けました御議論をお願いいたしました。これを踏まえまして、当日5月 30 日から6月 13 日にかけて、皆様から答申に盛り込む御意見を頂戴したところです。頂戴した御意見の一覧、それから頂戴した御意見に対する市としての見解につきましては、資料2でまとめている通りでございます。いただいた御意見のうち一部の御意見につきましては、既に基本計画(案)にその考え方を盛り込んでいること、またいただいた御意見の一部については、本日お配りした資料3の基本計画への反映ができるもの、そういった御意見につきましては反映をさせていただいております。残る御意見を踏まえまして、答申文案を作成いたしましたので、本日はその点の御協議をお願いいたします。

それでは資料1にお戻りいただきまして、答申文案を御覧ください。なぞるような形で読ませていただきますので、確認をお願いいたします。

まず、答申の表題でございますが、こちらにつきましては令和6年1月31日、市長から当審議会へ諮問した表題と合わせてございまして、括弧内を答申と変更している内容でございます。

それでは読ませていただきます。

『「新たな鎌倉市総合計画について(答申)」 令和6年1月31日付け鎌企第936号で諮問を受けた「新たな鎌倉市総合計画について」に対し、基本構想については、別添「鎌倉ビジョン2034」のとおり、基本計画については、別添「鎌倉ミライ共創プラン2030」のとおり、答申する。』

別添につきましては、本日は資料3の形でお配りしているものですが、体裁は少し変わりますが、いずれにしても資料3をこの頭紙の答申文につけるという形になります。資料に戻ります。

『市では、本計画の策定に際し、当審議会の審議と並行して、こどもたちを含む多くの市民との対話やオンラインを通じた市民意見の聴取、市民アンケート調査、意見公募手続等、様々な市民参画機会を得るための十分な対応を図られてきたものと評価する。

今後急速に進む人口減少や老年人口割合の上昇・生産年齢人口割合の低下といった人口構成の変化、人口減少とバランスの取れていない土地利用、様々な社会事情に起因する市民の生活様式の変化、そして、国際的な課題である気候変動への対策(適応策・緩和策)等により、市民生活や市政を取り巻く環境が大きく変化していく中で、市長におかれましては、鎌倉市の新たな総合計画(以下「新総合計画」という。)のもと、“鎌倉らしさ”を大切にしながら、めざすべき将来都市像である「古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造するまち」の実現に向け、市民・企業・団体等との共創によるまちづくりにより、新たな時代に求められる持続可能な都市経営に努められることを期待する。

なお、審議の過程において、各委員から非常に貴重な意見・提案等があったため、答申にあわせて、以下の項目について、特に意見を付する。

1. 新総合計画の推進

30年ぶりの基本構想の改訂に伴う新総合計画は、今後の鎌倉市の都市経営の方向性を示すものである。この方向性に基づく具体的な施策展開にあたっては、それぞれの施策に関する個別計画が策定されるものと考えているが、これら個別計画の策定にあたっては、新総合計画に位置付けた方向性に基づき、その内容をさらに発展させ、新総合計画の実現

につながるものとなるよう留意されたい。また、個別計画の策定及び推進にあたっては、新総合計画の策定過程で市民や当審議会等から出た意見や提案を確認し、その趣旨が尊重されるように留意されたい。

そして、このためにも、行政担当部署間での意思疎通を深め、新総合計画の考え方や目標を理解したうえで、連携して行政運営に努められたい。

2. SDGs の反映

持続可能な開発目標(SDGs)の新総合計画への反映については、17 ある目標それぞれの視点から、それぞれの施策に不足している視点を探索するための「チェックツール」として用いることと整理した。これに向けては、職員研修などを通じて、17 ある目標がもたらす多様な視点を職員が理解し、複雑化する公共的問題の解決に向けて、行政担当部署が連携し、横断的な検討を行えるように、組織内における政策形成の仕組みを整えることにも留意されたい。』

『最後に、本答申に至る経過であるが、』とありますが、これまでの経過を書いてありますので、朗読は省略させていただきます。

基本的に資料2の中で、4番の委員の御意見を1に、5番の委員の鎌倉市らしさというような御視点を付言の前に、それから11番の委員の御意見を1に、2番の委員の御意見が1、会長の御意見を2に反映させて、一旦、案を作成いたしましたので、本日御協議をいただきたいと思います。

事務局からは以上です。

会長 御説明ありがとうございます。ただいま事務局から説明がありました通り、答申案を作成いたしました。これについて、御意見・御質疑等はございますか。

一つ私から申し上げますと、委員からも資料2の6番でいただいておりますけれども、答申案をできるだけ短くというところは私も意識しながら作成をしております。経過のところはいわば今まで我々が何を議論してきたか、それをきちんと記録に残すということで少し記載をしてございますけれども、基本的にはA4、1ページ、両面にはまたがってしまいますけれどもかなり短くまとめたところでございます。

もし委員の皆様からこれについて、御意見がございましたら、是非頂戴したいと思えます。では、委員、お願いいたします。

委員 この全体の流れを見えますと、1段落目でまず結論を答申すると言っています。2段落目でいろいろ人の意見を取り入れました、3段落目で市長さんこうして欲しいです、4段落目は具体的な案があります、と。それから最後は今までやってきたものの過程というふうになっているのですが、私はやはり1ページということにこだわりたいです。なるべくこういう文章はすっきりと1ページにまとめるということにしたいです。したがって、まず1点、最後の『本答申に至る経過であるが』というのは、こういう文章にしないで箇条書きにする。第1回、何々、どういうことやった第2回、何々、どういうことやった、というふうに箇条書きにして添付資料にする。これを一番大事な添付資料、すなわち1にしよう。そうすると1ページ半でまずは済みます。残りの1ページ半ですが、改めて見てみると、省略できるところはいくらでもあるという感じがします。この文章が悪いのではなくて、文章自身は非常によいのですが、もし1ページに省略しようとするならば、というふうに考えると、結構省略できると思っています。

まず第一番目として、全体を上によれば3行ぐらい何とかできます。

それから、第1段落と第2段落の位置関係なのですが、これでよいのか皆さんの御意見を伺いたいのですが、第2段落が一番初めて、第1段落が2番目なのではないかという感じがちよつとします。つまり、市では、本計画の策定に際し、いろいろ人の意見を聞いて、十分な対応を図られてきたものと評価する、それが一番初めて出てきて、その次に、さて本答申においては、一番最初の通り、「鎌倉ミライ共創プラン 2030」のとおり、答申する、というふうに持ってくるのが普通ではないかなという感じを受けます。

その次の段落はそれの説明に当たっているのですよね。要するに「鎌倉ビジョン 2034」

とか「鎌倉ビジョン 2030」に書いてあることを要約してあるわけです。ですからこれはやはりくっつけて、それを言い方というようにすれば、これを全部読むのは大変だから大事なところだけピックアップしなさいよという意味合いだというふうに思います。

それともう一点、もう 20 年ぐらい前になるのですが、日本経済新聞に私の履歴書という欄が今でもありますよね。ちょっと話したことがあるのですが、あれを書いた人はゴーストライターで、本人に書かせたら文章が長くなってしまうということだそうで。あの文章はものすごくいい文章だと有名で、ゴーストライターがものすごく気をつけたことは、一つの文章は最大 50 文字。できれば 30 文字、50 文字を超えてはならないということなのですね。なぜ 50 文字を超えてはいけないかという、主語・述語の関係がおかしくなってくるのですね。主語でこう言っているのに、最後の述語を見てみると、全然逆のことを言ってるケースが出てきてしまう。それは文章が長くなるから、そういうことになるのであって、文章が短く下がれば主語・述語がはっきりしているということがあると思います。

この3段落目の文章を見させていただきますと、実は 300 数十字あります。私が全体的に少し読みづらいかなと思ったのは、やはり文章が長いのです。どこで区切るかというと、まず主語はどれですか。『今後急速に進む人口減少や老人人口割合の上昇・生産年齢人口の低下といった人口構成の変化』が主語だとすると、最後に出てくる『新たな時代に求められる持続可能な都市経営に努められることを期待する』ということに繋がらないですよ。だから繋がる主語はどこかと探したのですが、この文章の下から5行目の『市長におかれては～努められることを期待する』に繋がるわけなのですね。ですから、その『市長におかれては、』以降が大事なのであって、その前は単なる形容詞ですよ。状況説明しているだけです。そうすると、『市長におかれましては、』の前に『環境が大きく変化していく中で、』と書いてあるのがいけないのであって、『環境が大きく変化していく。』で段落を区切ったあとで『市長におかれましては、』ということになるのではないかと思います。間違っているかもしれませんがね。それにしても上が 120 字、下が 150 字は、長いです。もう少し削った方がいいというふうにやっていると、ずいぶん削れると思います。これはこれでいいのですが、十分削れる要素を持っているというふうに思います。

もっと言いますと、『1. 新総合計画の推進』というところです。『30 年ぶりの基本構想の改訂に伴う新総合計画は』とあります。その次のページを見てみると、『策定にあたっては、新総合計画に』、その次の行、『新総合計画の実現』、その次の行に『新総合計画の策定』、最後の方に『新総合計画の考え方』とあります。要するに、タイトルに『新総合計画』とあるのに、これだけの文章の中に『新総合計画』がいくつ出てくるのかということです。これは多分一つで十分だと思います。あとの5つは省略できてしまう。

それからもう一つ。同じく今の『1. 新総合計画の推進』、それから『2. SDGs の反映』のところで、両方とも最後は同じことを言っています。『そして、このためにも、行政担当部署間での意思疎通を深め、新総合計画の考え方や目標を理解したうえで、連携して行政運営に努められたい。』SDGsの方は、同じことを別の表現で言っています。『行政担当部署が連携し、横断的な検討を行えるように、組織内における政策形成の仕組みを整えることにも留意されたい。』この1と2に関しては一つまとめて済むと思います。こういうふうにやっていると、最後の文章を別添にすれば、1ページ半が半ページくらいは縮まるかなというのが私の意見です。

会長

ありがとうございます。今いただいた御意見を踏まえますと、今のままよりもっと短く、表面1ページにというのが、委員の御意見ということで、ありがとうございます。ちなみにもう一度確認しますと、『令和6年』から始まる第1段落と、『市では』から始まる二つ目のパラグラフをまず逆にして、その上で後ろの『今後』から始まる部分、300 字程度のいわゆる修飾語に当たる部分をかなり短くし、あとは1と2のところに、「行政が横断的な検討を行う」という、この連携の部分も一緒に一つの文章にまとめればもっと短くなっていく。それから複数の『新総合計画』の省略と、答申の経過ももっと短くコンパクトに。例えば表にするとかでもよろしいのですか。

- 委員 はい。
- 会長 ありがとうございます。
- 委員 特に2段落目で、「る。」が外に出ていてもつたいない、1行を損じています。例えば何でも減らせませう。同じ2段落目に『市民意見の聴取』と『市民アンケート調査』とありますが、「の」を入れるのであれば、『市民アンケートの調査』のように「の」を入れなければいけない。けれども、『市民アンケート調査』で「の」が省かれているのであれば、『市民意見聴取』でいいわけです。それから『当審議会の審議と並行して、』とありますが、『並行し、』でいいわけです。「て」がいらない。というように考えると、「る」はその上の行に戻るから1行助かることになります。そうやって内容をなるべく残しながら、文書で簡単に変わっていくという方法もあるのではないかなという気がします。
- 会長 委員、ありがとうございます。文意が変わらなければ、おっしゃる通り短くしていくというのは、推敲の段階で非常に重要なことだと私も思います。
- 今、委員がおっしゃっていただいた御意見に対してでも結構ですし、それに関連した御意見で、できればいただきたいのですが、委員の皆様いかがでございましょうか。
- 委員、お願いいたします。
- 委員 委員に質問なのですが、なぜこれを A4、一枚にした方がよいのか、その目的が何なのかをお伺いしたいです。
- 委員 目的は人に見やすくするためです。我々もサラリーマンで育っていますので、サラリーマンが上司に文書を出すときに、皆さん、やはり饒舌にならないように、1ページで、というのはみんなに言われることだと思います。特に大学の研究論文などもそうですよね。私がちょっと理科系で、文科系でないの、本当は文章はわからないのですが、卒業論文を書かなければならないときに、卒論の時は何も言われなかったのですが、修論になったときに先生から厳しく指摘されました。「1ページだよ。2ページにわたってはいけないよ。人が読まないのだよ、ページが多くなると。」と言われて、1ページにまとめるということは、逆に頭の中が整理できるという意味で、何ページにわたると整理できないということではないかと私は思います。
- 会長 ありがとうございます。それについては、もし何かございましたら、もちろん委員がおっしゃっている1ページにまとめるという意見も、それはそれでももちろん正しいですし、あとはこの答申というものの性質を踏まえると、我々の経過であったり、2034 のビジョン、この内容がある程度、恐縮ですが私が市長に皆さんを代表して答申という形でお渡しする際に、コンパクトにわかりやすく背景情報も含めてお伝えをする、そういった役割も実は兼ねているところでもありますので、いくつかの選択肢がもちろんありますので、その中で委員の皆様、よろしければ他にも御意見を賜れるとありがたいのですが、いかがでしょうか。
- では、委員お願いいたします。
- 委員 私も個人的な意見で大変恐縮なのですが、答申の性質上 A4、一枚にこだわる必要はないのではないかなと私は思います。ただ、御指摘があったように、言葉が少しかぶっている部分ですとか、読みやすさというのは非常に大事なかなと思っております。そのあたりはぜひ事務局の方でもう少し検討いただければと思います。
- 会長 ありがとうございます。その他いかがでしょうか。
- 「る」が外に出ている等、今、委員もおっしゃっていただいた通り、そこは委員のおっしゃる通り、より明瞭にわかりやすく短くしていく必要は絶対にあると思っていますので、そこは努力をしてまいりたいと思います。
- この SDGs の反映の部分も、私が文章を作っていますので、その辺りも含めてやりたいと思います。ありがとうございます。いかがですか。
- 委員 2ページの『最後に』というところは、私達が今までやってきたことの時系列なので、これを表にまとめるとか、年表のような感じで、こうやりました、こうやりましたという、もっとコンパクトになるのかなと思います。
- それからその前の1番の『新総合計画の推進』と2番の『SDGs の反映』というのは、これ

はちょっと私も不勉強なのですが、もっと簡単に説明できるかもしれないと思います。特に2番の『SDGs の反映』というのは、ここに書いてあることは当然のことといえば当然のことなので、もっと短くしてもいいのかもしれないと思います。

今、委員もおっしゃったように、その前の文章、1ページ目の中ぐらいは非常に私達が考えている願いであるので、ここは文章の成り立ちとかあるいは 50 文字ということは気にしながら、きっちりと述べておく方が良いと思います。

今私もぱっと見て考えると、1ページと別添で年表みたいなもので、1ページちょっとになるかなというところで収まるというふうに思いますので、私はそれでよいのではないかなと思います。以上です。

会長 はい。ありがとうございます。今おっしゃっていただいた通り、もう少し短く、少なくとも1ページにという御意見はいただいていますのでそれを尊重しつつ、もしかしたら少し過ぎてしまいかもかもしれませんが表にする形が望ましいでしょうか。

委員 それはもうこだわりません。なるべく簡潔にということです。

会長 はい、それはおそらく委員の皆様の賛成という形で。事務局、もしあればお願いいたします。

事務局 委員がオンラインの関係上、音声が入りよく伝わらないということで、いただいた御意見を代わりに読み上げさせていただきます。以下3点、御意見の内容になります。

「まず1点目がダブルミーニングになっている箇所や饒舌な所はスリム化してよいと思いますが、短ければ良いということではないので、必要な文書を入れておいてよいと思いました。」

「1の新総合計画の推進は当然のことなので、各部署連携で進めること、多様な意見を取り入れ進めることなど、「どのように」を入れてはいかがでしょうか」

「また、新たなアプローチが何なのか、要点が伝わるのが大事なので長期の通り書かせていただきました。」

事務局 今、全体の御意見をいただきましたが、付言の部分とその振りの部分とが、論点が入り乱れているようですので、付言の前の整理として、全体を端的に短くするというのは結論として出ているのですが、そこは分けて御議論していただけるのがよろしいかと思います。

会長 ありがとうございます。今おっしゃっていただいたことを具体的をお願いします。

事務局 まず資料1について、『1. 新総合計画の推進』の前の部分の、委員からお話のあった、順番の入れ替えだけをやって、形容詞的な部分を消すというところまでをやっているのですが、それ以外にも細かく委員からこうした方がいいのではないかなというお話がありました。1の『新総合計画の推進』に『新総合計画』の単語が何度も出てくるというお話と、最後が重なっているというお話で、加えて今、委員からオンラインでも御意見をいただいているというような状況ですので、ちょっとそれぞれを区切って整理をしていただくのがよろしいかと思います。

会長 どうもありがとうございます。では、この付言の前のところですね。今、資料1において赤で消していただいた部分の中にも重要な部分があるという御意見もいただいておりますので、これを 50 字と、委員からはできれば 30 字というお言葉もいただきましたが、これを修飾語的に枕詞的に使うのではなく短く文章として一つ区切って、ただ重要なところは残していくというような方向性で修正をできればと思います。

委員 是非、そうしてほしいところです。

会長 ありがとうございます。『市長におかれては』の枕詞に今まではなっていたということですよ。

委員 そうですね。

事務局 全削除はせずに、短くして残すということですか。

会長 はい、そうですね。委員の皆様いかがでしょうか。

あと一番上の『評価する』の文をちょっと短くするという御意見でした。

では委員お願いいたします。

- 委員 1段落目と2段落目を入れ替えることについて私は反対です。これは答申ですから、「答申する」というのはやはり第1段落目にあって、それから受けて市ではこうしたという順番でないと論理が成り立たないように思います。以上です。
- 会長 ありがとうございます。これは市で決まったフォーマットがあるというよりは、我々の中で議論をして決めていくところなので、今、委員がおっしゃっていたお話と、委員のおっしゃってくださったお話と、皆さんで議論しながら決めていければと思います。
- 委員、いかがですか。
- 委員 私はどちらがいいかはわからないので、皆さんの御意見を伺いたいと申し上げました。1段落目と2段落目を入れ替えないと、中身が繋がらないような気がしたのですが。
- 会長 ありがとうございます。私のもリプライで言いますと、やはり答申であるということを明らかにするところは一旦入れておいてもいいのかなというのはちょっとございまして、それを受けてこういう経過で議論をして、こんな大事なことがあって、貴重な意見もあったので付言として残します。最後が表で経過というようなイメージで、ある程度私としてはロジックが繋がるのかなと思うのですが、委員いかがですか。やはり切れてしまいますか。
- 委員 迷っています。だから結構でございます。
- 会長 ありがとうございます。では、今、委員から御意見いただいたところ、委員からいただいたものを踏まえて、これは逆にせずに、『市では』のところは前に持ってきて、『評価する』のところの文章、ここはちょっと長いので、もう少し短くまとめて2行ぐらいにできればたらって感じですよ、きっと。難しいかなと思うので、少なくとも3行に収めるというのは、できるのではないかなと思います。
- 委員 その意味なのですが、「市では、いろいろなことを図られてきたものを我々が評価する」ということですか。
- 会長 そうですね。これは審議会の答申なので、住民の意見も汲んだことは、それは評価に値するということを最初に入れております。
- 委員 次の文章なども結構だぶっているような気がします。例えば、2行目、『様々な社会情勢に起因する市民生活の様式の変化』と書いてありますが、その次に『市民生活や市政を取り巻く環境が大きく変化していく』と、同じことを言っています。どちらか一方で済むような気がします。
- 会長 ありがとうございます。これは委員がおっしゃっていただいたようにダブルミーニングといえますか、同じ言葉を何度も使うというのは、今、委員がおっしゃっていただいた通りできるだけ減らすというのは、私もそう思います。
- 確認だけすみません。今、委員がおっしゃっていただいたのは、『様々な社会情勢に起因する市民生活の様式の変化』と、もう一つの御指摘について再度伺えますか。
- 委員 『市民生活や市政を取り巻く環境が大きく変化していく』です。これは同じようなことを言っているのではないかなと。
- 会長 ありがとうございます。そうですね、これを一つにすればいいですね。
- 事務局 事務局、もし何かあればお願いします。
- 事務局 オンラインの委員から御意見をいただいております、『こどもたちを含む多くの市民との対話やオンラインを通じた市民意見の聴取、市民アンケート調査、意見公募手続等』のところを、「こどもたちを含む多くの市民から直接対話、オンライン、アンケート調査、公募等、様々な方法」でまとめてはいかがでしょうか、というちょっと短くする案をいただきました。
- 会長 ありがとうございます。それは私もまとめていいかなと思うのですが、委員の先生方、いかがでしょうか。よろしいですか。
- 委員 素晴らしいと思います。
- 会長 委員、ありがとうございます。オンラインで御発言は難しいということですが、聞いていただいていると思いますので、貴重な御意見ありがとうございます。
- そこでかなり短くなりますね。

- 会長 あとは『今後急速に進む人口減少や』から始まるところを、今おっしゃっていただいた 50 文字とか 30 文字とかを意識しながら、二つぐらいに区切っていくという感じですね。
- 委員 そのところはまだ『今後』なんていないですよ。「急速に進む」のだから、今後ではなくて今も進んでいるのですから。『今後』などと強調する必要はないので、例えば、「急速に進む少子高齢化による人口減少と、バランスの取れていない土地利用」とかにすれば、真ん中が全部飛びます。
- 会長 ありがとうございます。そこは預かりというかですね、それを踏まえて文章の方は短く済ませていただきたいと思いますので、間違いなく今の委員の御意見は頂戴するというふうにしたいと思います。
- 会長 『市長におかれては、』から始まる部分ですね。こちらについては、委員の皆様いかがでしょうか。「鎌倉らしさ」という言葉を加えたりですね、あとは「めざすべき将来都市像」ですね。ここも書かせていただいています、いかがですか。
- 委員 委員お願いいたします。
- 委員 唐突感があるかなとちょっと気になったのですが、『バランスの取れていない土地利用』というのは、これは何を言っているのでしょうか。例えば乱開発が行われているとか、そういった地域でも鎌倉はないような気がするのですけれど。もっと優しい言い方がいいのかなと思いました。現時点で私達はこういったことで、昔はもちろん古都保存法ができた時とか、そういう時はありましたが、何かこれを見ると、どこかでこんなことが起こっているのかというふうに思ってしまうかもしれません。
- 会長 ありがとうございます。事務局、いかがでしょう。
- 事務局 何回目だったのか記憶が定かなくて申し訳ないのですが、土地利用と人口の基礎条件の議論を、昨年の 10 月から 12 月にかけて 3 回御審議いただいた際にお話した通りで、現在の本市の土地地用では工業系が減り、住宅系が増えているのですが、対してこれまで説明させていた通り、人口は減っています。つまりこれまで 2 世帯であったものが核家族化、しかも核家族化であってもその人数が減り、さらには夫婦のみないしは単身世帯が増えている。それに対して住宅供給戸数は確かに今委員がおっしゃっていたような大規模は減ってきましたが、それでも例えば梶原とか今泉ですと一区画であったものが二区画に分かれたりですとか、資生堂がマンションになったりとか。そういった形で今人口が減っているのに対して住宅系が増えているというところでのバランスが取れていないということに、これまでに御説明させていただいたその視点を入れさせていただいたというところであります。
- 会長 ありがとうございます。例えば人口減少を踏まえたとかだったら、もう少し表現的には優しくといいますか、意味がきちんと伝わるものになるのでしょうか。
- 委員 難しいですね。必ずしもそれはそういうことを言っていないような気がします。
- 委員 人口を増やすためにマンションが多くなって開発した方がいいというのは、それはそれでありますね。
- 会長 今、オンラインの委員が参加していただいていますので、お願いします。
- 委員 多分これについてはいろいろ考え方があって、人口減少しているのだからもう住宅は供給すべきでないという考え方と、それから開発すれば首都圏のパイが大きいので、鎌倉に人口が流入してくるので、開発した方がいいという考えがあって、そこはあまりまだ議論できていません。ですので、一方で従来は工業系で想定していた土地が住宅系にどんどん変わっていくというバランスの悪さがありますので、ここは『人口減少と』というところを取ってしまって、単純にバランス、すみません、ちょっと今、原文が見えなくなってしまったのですが、バランスに欠けたというか、『人口減少と』というところを削除すると、ニュートラルな表現になるのかなというふうに思います。単純に『バランスの取れていない土地利用』ですね。あるいはもうちょっと言うと、「社会経済状況の変化に対応していない土地利用」とか、そういうニュアンスなのかなと思います。すみません、作文はおまかせしますが、そういう趣旨だと思います。以上です。

- 会長 委員、ありがとうございます。「社会経済状況と対応していない土地利用」という言葉は「バランスの取れてない」よりは、かなり表現的にはよりシンプルに意味を捉えているような気がするのですが、いかがですか、委員の皆様。委員お願いいたします。
- 委員 今のお話で質問させていただきたいのですが、この答申の頭紙と、例えば今差し替えて入れていただいています追加資料の3ページ目には、『人口減少とバランスの取れていない土地利用』という記載があります。これは頭紙のみ変えていくものなのか、中の 10 月に戻ってこの議論のところからやっていくものなのかと、そこは違うのではないかなと思うのですが、こちらはいかがでしょう。
- 事務局 まさに委員のおっしゃった通り、追加ページをどうしようかなというふうに考えていたところで、本体と同じ趣旨の答申があるわけですから、ここの視点を変えていくとなると、果たしてできるタイミングかという難しいです。他方で、あくまで計画と答申に違いを持たせることがあると思いますので、委員のお話にあった「人口減少と」という言葉を除くぐらいであれば、それはあると思います。
- 委員 委員から御指摘いただいた通り、ここの「具体的」を残し続けると、そんな短くならないので、今、委員から御指摘いただいて、まさに本体をなぞらえている部分ですから、場合によってはここであえて答申の頭紙という部分ではこういった部分を削るという考え方もあるのかとは思いますが。
- 委員 御指摘の通りだと思いますので、『人口減少と』を削除するという事で異論ありません。
- 会長 ありがとうございます。言葉をですね、今、委員に御指摘いただいた通り短くして、『人口減少と』という言葉を取るという案と、もう一つ、そもそもこの文章を、もう未来共創プランか鎌倉ビジョンの方に書いてあるので、まるっと取ってしまうという考え方もあると、今、事務局がおっしゃったのですよね。私が例えば答申のときに、ここの文章を少しだけ要約して、口頭で申し上げるという方法もあろうかと思えます。ですので、文章は短くし、ただ委員からもおっしゃっていただいた通り、大事なところは残していく必要があるのも、私の方でお渡しするときに口頭できちんと読む。それは私も間違えないようにきちんと紙を用意することになると思いますが、口頭でお伝えするという方法もあろうかと思えます。この辺りいかがでしょう。
- 委員 説明の中で、口頭で足りない部分、大事なところだけを補うというのは良いことだと思います。次の『市長におかれては、』の部分もうずいぶん長いので、ここも何とか少し短くできないかなと思います。これも 150 字ぐらいになっています。ちょっと読みますと、「市長におかれては都市経営に努められることを期待する」、という文章ですよね。どんな都市経営で、持続可能な都市経営ということだと思うのです。読んでいて長くなると、例えば『古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造するまち』の実現に向け、』そのあと、『市民・企業・団体等との共創によるまちづくりにより、新たな～』、この文章が入ると分からなくなってしまいます。ですからこれは大事な文章かもしれないのですが、「生きる喜びと新しい魅力を創造するまちの実現に向け、新たな時代に求められる持続可能な都市経営に努められることを期待する」、とすればすっきりするのです。ここに変な文章が入ってきているから、込み入ってしまっています。この文章が大事であるならば、むしろちょっとはずして、どこかにうまく注書きする必要があります。できるかどうか分かりませんが。
- 会長 ありがとうございます。この共創というのは多分皆さんでいろいろな方で協力してやっていくことが非常に重要であるということを申し上げたいということで、この部分を入れたことによって、少し文章が、焦点がぼけてしまうといえますか。委員、お願いします。
- 委員 大前提なのですが、答申書の役割を今一度整理するのはいかがでしょうか。この答申書を短くすることの意図と答申書の役割がきちんと合いませんと、この議論を進めていまして、個人的な意見でこうしたらああしたということではないと思っていますので。これは市長向けに会長が答申するという場だけ使われるものなのか、この先ずっと私達がこの答申書を頭紙として何かに使っていくものなのか、前回のものを私達が見たように、現場で説明するだけではなく、これがあるからこそ、前回の審議会の引き継ぎとしても役立ったように

使えるものなのか、という目的をもう一度この場で皆さんの目線を合わせたいかがでしょうか。

会長 委員、ありがとうございます。そこはまさにおっしゃる通りで、これが前回のものが残っていたから我々は議論ができたという側面はあります。口頭で読むと消えてしまうという側面もあるので、我々が議論して、その上で作ったビジョンなのですよ、ということをきちんと市長にお伝えをしていくというのが一つの目的であろうかとは思いますが。それを踏まえますと、重複するものは削ってももちろんよいのですが、削りすぎるのも逆に我々の議論が残らなくなってしまうということになります。これはウェブサイトにも掲載をされて、引き続き公開されていくものなので、残すべきところはやはり残した方がよろしいのではないかなとも思います。この議論を踏まえて、委員の皆様いかがでしょうか。もし何か御意見があれば伺いしておきたいのですが。

委員 今の委員のお話に私も賛成です。何でもかんでも削ればよいというのではなくて、重複しているところ、それから私が申し上げた、それがあるゆえに文章が読みづらくなっているところ、『市民・企業・団体等との共創によるまちづくり～』を消すと言っているのではないのです。ここからはずして別途、うまく書けないかなということ。これは結構大事なことです。これをここのところに入れてしまうと文章が読めなくなるという意味なのです。

会長 ありがとうございます。難しいですね、短くしようと思って1個に入れたケースもあったりとか、そういう経過がありますが。もし事務局、何かありましたらお願いします。

事務局 まず付言の前ですが、今の確認をしますと、『今後急速に進む～』のところははっきり、まさにさきほど委員もおっしゃっていたのですが、現状をわざわざ言っている、それがいるかいないかというのは一つの問題かと思えます。それ以外の部分に関しては、繰り返しになりますが、短くしていくというのはやっていくとしても、要素としては残りの部分をまずもって残すところを確認させていただければ存じます。

会長 ありがとうございます。残す部分は何か、削る部分は何かというのを改めて確認をして、作文の方はちょっと預からせていただいて、事務局と私の方で直させていただくという形にできればと思います。オンラインの委員も、いかがでしょうか。もし何かあればお願いします。

ちよつと確認ですけれども、残すところで、『今後』という言葉はなしとして、『急速に進む』から始まるこの部分はですね、残す、残さないで言うと、委員の皆様いかがですか。今、まるっと切るというアイデアともう一つ、短く二つぐらいの文に分けて 50 字以内に収めていくというようなアイデアがあるのですが、この二つだといかがですか。

委員 少しまるめて、残した方がいいと思います。

会長 ありがとうございます。ではこの経過は、委員の皆様、残すということでよろしいですか。

委員 地域コミュニティの希薄化というのが、一番言いたいことなのではないかとは思いますが。本文の方で。年寄りばかりが増えて、土地も空き地が増えて、結果的には地域コミュニティが崩壊していくという話なので、原因、その結果を書いてあげるとわかりやすい文章になると思います。そのあとは国際的な課題、気候変動など市民生活や市政を取り巻く環境で読めなくなるので、しっかりやりましょうという話だと思いますので。

委員 委員の意見に賛成です。非常にいいような気がします。

委員 これは本文に、地域コミュニティの関係の変化ということで、いわゆる希薄化ですね。バラバラになってしまって、自治会も入る方が少なくなっているところを一番言いたいのではないかなと思います。コミュニティ自体が崩壊して、気候変動もひどくなり、やっていられないということになるのではないかなということですよ。

委員 少し前に言った一つの問題ですが、気候変動はいいのですが、国際情勢の変化というのが、やはりゼロではないと思うのです。いろいろな戦争がある中で、我々がどう巻き込まれるかもわからない。ですから一言入れておくべきではないかと思えます。どこに入れるかというと、今言った地政学で、国際的な課題である気象情勢、国際情勢の変化。

委員 それが市民生活や市政を取り巻く環境に入るかもしれないのですが、いわゆる地政学と

言われるものなので。

会長 ありがとうございます。今の御議論ですが、やはり、こちらと対応させていかなければならないということもあって、委員の御意見は、まさにおっしゃる通りだなと思いつつ、それを委員がおっしゃってくださったように、市民生活や市政を取り巻く環境という変化の言葉の中に含めているというふうに解釈をできると、短くなりつつ、かつこのビジョンとも対応ができるのかなと思ったのですが、そのあたりいかがでしょうか。

委員 結構です。

会長 ありがとうございます。かなり短くなったのではないかなと思います。

 あとは上のところですよ。『市では』から始まる段落も、委員からいただいた意見を踏まえていけばもっと短くなると思いますので、そこも間違いなく反映するということで。

 『市長におかれては』で始まるところは、基本的に鎌倉らしさも非常に大事だという御意見は委員の皆様からもいただいているので残しつつ、削るところは逆に言うと、「めざすべき将来都市像」を引用してきていますので、そこで1行半ぐらい、これはどうしても使ってしまうところがあります。例えばこの鍵括弧を削る、それでもめざすべき将来像というのはわかっているでしょうと、そういう議論もあるのかなと思います。将来都市像というのはもう鎌倉で共通のものだからわざわざ引用しなくてもいいのではないかなという意見も中にはあると思いますし、逆に明示することで、議論をわかりやすくするということがありますので。

委員 それを入れないと市長に何も言わないことになってしまいますよね。

会長 ではこれは明示して残すということにいたします。共創のところはできるだけ短くすることによって預らせていただいて、あとは本文の方はいかがですか。1より上です。新総合計画の推進の前のいわゆる文章のところについてはいかがですか。かなり今短くすることが叶ったのではないかなと思いますが、よろしいですか。

 ありがとうございます。ではこの後は、新総合計画の推進以降のところに移って議論をしたいと思います。今、色を塗って頂いている部分、行政担当部署さんが連携してやってくださいというところ、1と2ですね、これは共通しているのでまとめていくというのはよいのではないかなと思いますが、このあたりはよろしいですか。

委員 2行目がちょっとしつこいと思います。『この方向性に基づく具体的な施策展開にあたっては、それぞれの施策に関する個別計画が作成されるものとするが～』は、作成されるに決まっているわけなので、「考える」ではなくて、この文章全体を「個別計画の策定にあたっては」で十分ではないでしょうか。『1. 新総合計画の推進』の2行目と3行目です。

会長 ありがとうございます。ここの部分は私も省略しても意味は通るのかなと思います。ただ、逆にここに何か残した方がよいという御意見もあるかもしれませんので、委員の皆様にお伺いしたいのですが、いかがですか。

委員 残した方がよいのであれば、短くして、「この方向性に基づく具体的な個別計画の策定にあたっては」にしてはどうかなと思います。

会長 ありがとうございます。このあたりは、委員の皆様いかがでしょうか。

 委員、お願いします。

委員 私は、ここは省略できないと思います。それは、具体的な施策の展開は、必ず個別計画が策定されて、市はその計画の中で具体的な取組をやっていくので、この言葉自体はこの文意でいうと必要なのかなと思います。あとは文章を上手に繋げればよいのかなと思います。

委員 「個別計画の策定」を落とすとは言っていないのです。「個別計画の策定」は重要だから落とさず、「この方向性に基づく具体的な個別計画の策定にあたっては」でいいのではないかなということ。大事なところだから個別計画策定に決まっているのですが、「策定されると想定されますが、」とありますが、想定する必要はないですよ。『考えるが』がいらないと思います。やはり長いのです。

会長 ありがとうございます。それでは今いただいた御意見を踏まえて、そこは短くまとめるということで、事務局と一緒に進めていきたいと思います。皆様よろしいでしょうか。

あとは1, 2の部分ですね。重複している部分を一つにまとめる。それ以外で気になった点、方向性も含めて何かございますでしょうか。では委員お願いします。

委員 2のSDGsのところですね。上から2行目の『17 ある目標それぞれの視点から』と書いてありますが、これは『視点を』ではないかなと思います。

会長 『17 ある目標それぞれの視点を、各施策に不足している視点を探索するためのツールとして使う』それはおっしゃる通りで、すいません、私が文章を作成しましたので、お詫び申し上げます。ありがとうございます。

これは、今、委員がおっしゃっていた通り直す方向でよろしいでしょうか。ありがとうございます。

その他いかがでございましょうか。オンラインの方もよろしいですか。

会長 どうもありがとうございます。残りは経過なのですが、これはさきほど委員から表にするというアイデアをいただきましたが、私も表にする方向にすればもう少し短くなるのではないかなと思います。これについてはいかがですか。

委員 表にして、添付資料1としてください。一番大事な添付資料です。

会長 ありがとうございます。ではこれは表形式で、「付録 appendix」という形にしたいと思います。そうしますとかなり短くなって、おそらく1ページ半くらいにはなるのではないかと思います。これで答申については一旦まとめていきたいと思いますが、委員の皆様何か御意見はございますでしょうか。

委員にはこの資料の2のところでは、御意見を賜っておりませんが、何か入れる視点などありますでしょうか。よろしいですか。ありがとうございます。

では、ここまで皆様に答申の議論をかなり細かく見ていただき、まとまったと思いますので、答申の内容に関する議論はここまでとしたいと思います。ありがとうございます。

会長 次に「その他」です。

まず、事務局から何かございますか。

事務局 資料の3について説明させていただきたい点がございます。最後のページをおめくりいただいて55ページです。これまでお示しをしていないページを急遽追加し、申し訳ございません。これまでお示していた共創プラン本体が施策の最後にICTを位置づけているのですが、ICTの主な取組で終わるというような形でこれまでお示してきましたけれども、前回市議会でも意見交換をする中で、計画の推進に向けて、指摘を受けたのは組織の関係だったのですが、そういった形で盛り込みはないのですか、というような御意見をいただきました。確かにそれは考えていることですし、そもそもそういったこれから計画をどう回していくかと、細かい話ではなくてあくまで大きな方向性なのですが、それを説明するページを最後に入れた方がいいかと考えまして、このタイミングで大変恐縮なのですが、55ページ、7番を追加しています。

その他ですが、追加資料です。先ほど説明をさせていただきました通り、ちょうど今週の火曜日に市議会総務常任委員会が開かれまして、その際に特に施策の前提ですとか、横断的施策ですね。防災、地球温暖化、この役割ですとか、防災、温暖化の横断的取組、そういった視点はないのですかと聞かれて、これも従前から当審議会にも説明をさせていただいていたかと思うのですけれども、明記をしていなかったのもそういった視点を赤字で追加すると同時に、若干の文言修正を赤字の通りさせていただいてございますので御確認をお願いしたいと思います。大きいところは最後の55ページを追加したということについて確認をお願いいたします。

会長 ただいま事務局から説明がありました追加の部分について、御意見・御質疑等はございますか。

委員 お願いいたします。

委員 ありがとうございます。オンラインで聞きづらかったので、繰り返しの確認ですが55ページのこの1ページに書かれていることが新たに追加された文章という説明でよろしかったでしょうか。

事務局 その通りです。

委員 それでは質問なのですが、(2)の組織というところの冒頭に、『行政においても』という言葉で始まっているのですが、本計画を着実に推進できる組織作りは行政が行うことが前提としてこの全ての計画が書かれていると認識していますので、どうしてここに「も」がついているのかということが気になってしまったのですが、一つ上の総論で、もちろん行政だけではなくて、様々な主体がそれぞれの持っている力、ですから市民も企業の方もそれぞれが推進を担うというのが(1)にあるのはわかるのですが、(2)のところはそれ全体をやはりリードするのは行政なのではないですかという質問です。

事務局 ありがとうございます。まさに委員の御指摘の通りで、もともと(1)と(2)を分けていなかったのも多分その文脈に「おいても」と書いたのをそのまま残しておりました。修正いたします。ありがとうございます。

会長 ありがとうございます。委員、その他にも何か御意見はございますでしょうか。よろしいですか。はいありがとうございます。

その他委員の皆様、御覧になっていただいているかがでしょうか。よろしいですか。もし特段御質疑等なければ次に進みたいと思いますが、委員の皆様よろしいでしょうか。

ただいま事務局から説明がありましたように、委員の御指摘を踏まえて修正をした上で計画案の最後に、計画の推進に向けて追加していただきたいと思います。

事務局 オンラインの委員から「EBPM はどこかに説明がありましたか」という御意見をいただいております。これは最終的に冊子の中に注釈を入れるということで御了承いただければと思います。

会長 あともう一つ、委員からロジックモデルの件を挙げていただいております。

事務局 先ほど、答申に付ける冊子の部分を申し上げたのですが、答申につける冊子はこれよりもっと簡素化しています。と言いますのは、答申でいただいたものをそのまま議案に出すと、基本的にそのフォームは変更しません。冊子としては、このあと、現状や資料を入れ、番号を変えます。注釈についても、綺麗な冊子にするときに、全部整理し直しますので、現時点では細かく入れてはおりませんけれども、今申し上げたように綺麗な冊子の段階では注釈は入れますので、追加した 55 ページに関する注釈も今後追加していくという点は御理解いただければと思います。

会長 ありがとうございます。委員からも今チャットでいただいておりますので、ありがとうございます。その他はいかがですか。その他のオンラインの委員の皆様もよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

では、ただいま事務局から説明があったように計画(案)の最後に「計画の推進に向けて」を、修正点を踏まえた上で追加していただきます。

それでは、最後に委員の皆様から何かございますか？

(意見等なし)

会長 私の方でも拝見しながら進めていきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

事務局から何かありますか？

事務局 議題1の件のうちの文言の関係なのですが、今後どう修正していくかというところですが、先に次回7月 25 日の話をさせてください。25 日は答申と冊子本体を市長にお渡しいただく場になります。一応、10 時から会議なのですが、理事者を入れて 11 時からということで、前半1時間はそういった意味では最低限の修正に対応できる体制をとるのですが、今日のような議論になるととても間に合わなくなります。それに向けて今日の御意見を受けて事務局が文案を作り、おそらく委員の皆様にもメールまたはファックスで確認をいただくというスケジュールをとっていくのですが、今日の御意見を踏まえると一往復では厳しいのかなと思っております。今事務局として考えるスケジュールは、会長と詰めていないのですが、来週いっぱい事務局と会長でやり取りをして、7日の週で1回やり取りをし、返していただいたものを 14 日の週に対応し、14 日の週中にもう1回打ち返して、22 日という、多分ちょっとタイトになりますが、皆様に御協力をお願いしたいということだけ申し上げます。事

事務局は当然全力で巻いていきますが、いずれにしてもそのようなスケジュール感にありますので、御意見がありましたらなるべく早めにお返しいただけますと助かります。もしかしたらさらにスケジュールが前倒しになって皆さんに見ていただく時間が短くなるかもしれませんが、御協力をお願いいたします。以上です。

会長 ありがとうございます。これについては委員の皆様よろしいでしょうか。

（ 委員了承 ）

会長 ありがとうございます。私もできるだけ努力をして頑張りますのでありがとうございます。
では事務局から何かあればお願いします。

事務局 まず、議事録についてです。

議事録については、第1回の審議会にて、発言に係る委員の個人名は記載せず、“会長”“委員”“事務局”等で記載すること、発言の要約は行わないことを御確認いただきました。

なお、公開は、委員の皆様にご確認いただいた後にホームページで公開することとしております。

前回の議事録については、一度委員の皆様にご確認いただき、本日、資料4として案を示させていただいております。

本日ここで御確認いただきましたら、公開したいと考えておりますが、この内容で御確認いただいてよろしいでしょうか。

（ 委員了承 ）

事務局 ありがとうございます。

また、「鎌倉市総合計画審議会委員名簿」についても御確認をお願いします。

これまで委嘱時時点の役職名もしくは団体名を記載していましたが、答申をいただくにあたり、最新の役職名もしくは団体名に変更をさせていただきます。

事前に皆様に御確認いただき、御回答いただきました内容を反映した名簿を本日の資料5として配布していますが、お間違いないでしょうか。

（ 委員了承 ）

事務局 ありがとうございます。

もし、本日以降に変更がある場合は、別途、御連絡いただけると有難く存じます。よろしくをお願いいたします。

事務局 本日の議題は以上となります。ありがとうございました。

本日、皆様からいただきました御意見等を踏まえて、修正させていただきます。

次回は7月25日（金）午前10時からを予定していますが、次回は市長、または副市長への答申となりますので、よろしくお願いいたします。

事務局からは以上です。

会長 以上で、第9回鎌倉市総合計画審議会を終了します。

以 上